

学部創設10周年を記念しての「第10回 社会と情報に関するシンポジウム」を終えて

本年は社会情報学部創設10周年に当たることから、夏休み始めの恒例行事として実施されている「社会と情報に関するシンポジウム」をその記念行事のひとつに位置づけ、宇宙—生命—社会という壮大なテーマを選定しました。宇宙誕生から120億年という長大な歴史を流れるシステムの質的な発展の解析を目的として、7月の学部研究会でプレシンポジウムを開催するなど、事前の準備にも努力を払ってきました。

宇宙、生命、脳科学の超一流の先生方をお迎えして、シンポジウムの第一日目は学内に限定せずに、広く市民を対象にした講演会として札幌圏における開かれた大学を目指す事業のひとつと位置づけました。150人以上の市民の参加を得て、学生を含めての参加者は450名を数え、立ち見席まであふれ、嬉しい悲鳴を上げました。

美しいという評価を得たポスターとチラシのデザインは(株)アイワードの制作によるものです。中心にオウムガイが美しくデザイン化されています。オウムガイは古生代カンブリア紀に発生し、5億年もの歴史を有しています。現在は南西太平洋の亜深海に4～5種だけがほそぼそと生息し、「生きている化石」と

して生物進化の生証人のひとつに数えられています。また、この美しい渦巻きは銀河系の渦巻き構造を思い起こさせてくれます。このシンポジウムで取り上げられている「進化」というキーワードを暗示しているものと、自画自賛しているところです。

本学部は社会情報学という新しい分野の構築を目指して設立された、我が国における最初の学部です。10年の教育・研究の実績の上に立って、IT革命が叫ばれる現代社会に貢献できる人材要請に応えるとともに、現代社会に生起する様々な社会情報現象を対象として、それらの研究分野の開拓に取り組んでいるところです。

第1日目の講演会とそれを受けて開催された第2日目のパネル討論会のすべてがこの特集に収録されています。それらの内容は本学部の研究・教育の発展へと連なる貴重な財産となることを確信しているところです。

最後になりましたが、講師の三人の先生方、このシンポジウムに参加された皆さん、そしてこのシンポジウムの成功を支えて下さった関係者の皆さんに改めて御礼申し上げます。有り難うございました。

札幌学院大学社会情報学部「第10回 社会と情報に関するシンポジウム」

●学部創設10周年記念講演会

宇宙・生命・脳の発生と進化

社会情報学へのステップ

〈講演〉 佐藤 勝彦氏 (東京大学大学院理学系研究科教授)
「宇宙はいかに生まれたか—現代の創世記—」

大島 泰郎氏 (東京薬科大学生命科学部教授)
「生命の起源研究の最近の話題から：原始の海は熱かったか？」

岩田 誠氏 (東京女子医科大学神経内科主任教授)
「ホモ・ピクトル(homo pictor)の進化論」

日時：2000年7月29日(土)
午後1時から午後5時30分

会場：札幌学院大学G館SGUホール
入場無料

JR函館本線大森駅下車徒歩10分
新札幌駅(市営地下鉄、JR千歳線)バス約10分

後援：北海道教育委員会・江別市教育委員会・日本社会情報学会
情報処理学会北海道支部・北海道社会学会

●パネル討論

「知的進化論」人類はどこから来て、どこへ行くのか

日時：2000年7月30日(日) 午前9時30分から午後1時15分
会場：札幌学院大学G館5階特別会議室

主催／札幌学院大学社会情報学部

問い合わせ／札幌学院大学教務部学務課 江別市文京台11番地 011-386-8111 (内) 3211